

アジャイルなふるまいを体感する ワークショップ実践ガイド (複数チーム版：オンライン)

IPA 独立行政法人
情報処理推進機構

※本コンテンツに掲載されている製品またはサービス名などの名称は、各社の商標または登録商標です。
製品、サービス名などには、必ずしも商標表示（(R)、TM）を付記していません。

はじめに

本資料は、「オンラインでアジャイルなふるまいを体感するワークショップ」をオンラインで実践しようとしている方に向けたガイドになります。

ぜひ、このガイドを読んで、少しでも多くの方にアジャイルなふるまいを体感いただき、アジャイルなふるまいを実践できる組織が増えることを願っております。

2022年3月 アジャイルWG一同

資料構成

アジャイルなふるまいを体感するWS実践ガイド（複数チーム版：オンライン） ※本資料

01_タイムテーブル（複数チーム版：オンライン）.xlsx

02_進行スライド_アジャイル体感WS（複数チーム版：オンライン）.pptx

03_インプットトーク（複数チーム版：オンライン）.pdf

04_進行台帳（複数チーム版：オンライン）.docx

05_トランスフォーメーションに対応するための

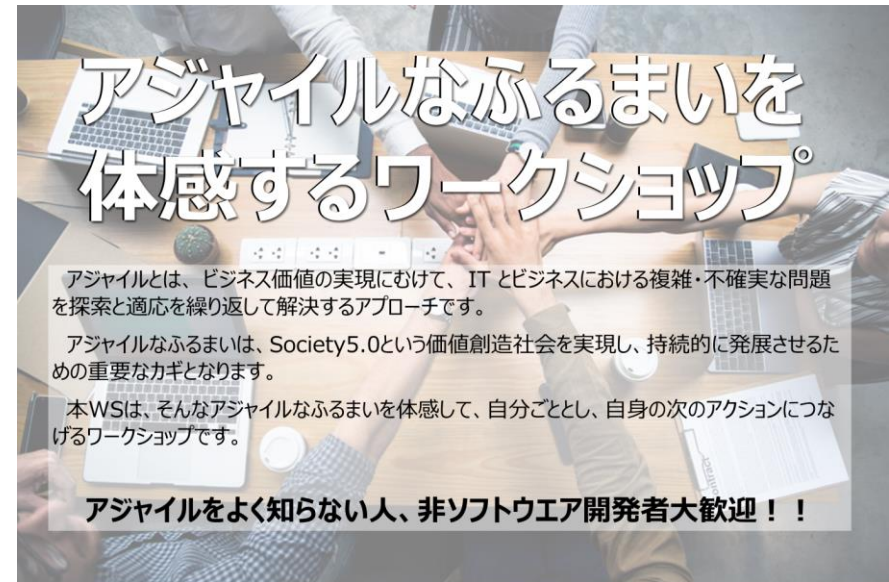
パターン・ランゲージ（複数チーム版：オンライン）.pdf

06_アンケート（ひな形）（複数チーム版：オンライン）.xlsx

07_miroボードレイアウト（複数チーム版：オンライン）.pdf

目次

0. 概要編
ワークショップの目指すところは？
1. 準備編
何を準備するの？
2. 当日編
ワークショップの流れは？
何に注意すればよいの？
3. 後日編
ふりかえりはどうして重要？



0.概要編 ワークショップの目指すところは？

ワークショップ（以下WS）を設計する際は、最低限以下の項目について明文化する必要があります。

- **目的**（何のためにこのWSを開催するのか？）
- **目標**（このWSの到達地点をどこにするか？）
- **対象**（このWSにはどのような人が参加するのか？）
- **カリキュラム**（どのような流れでWSを進めるのが効果的か？）

0.概要編 ワークショップの目指すところは？

目的

何のためにこのWSを開催するのか？

開発者以外の方々に開発手法としてのアジャイルではないアジャイルなふるまいを体感してもらうことで、少しでもアジャイルに対する理解を深めてもらい、アジャイルを普及促進するため。

0.概要編 ワークショップの目指すところは？

目標

このWSの到達地点をどこにするか？

アジャイルなふるまいを体感することで、自分ゴトとして捉え次のアクションにつながるきっかけを見つける。

0.概要編 ワークショップの目指すところは？

対象

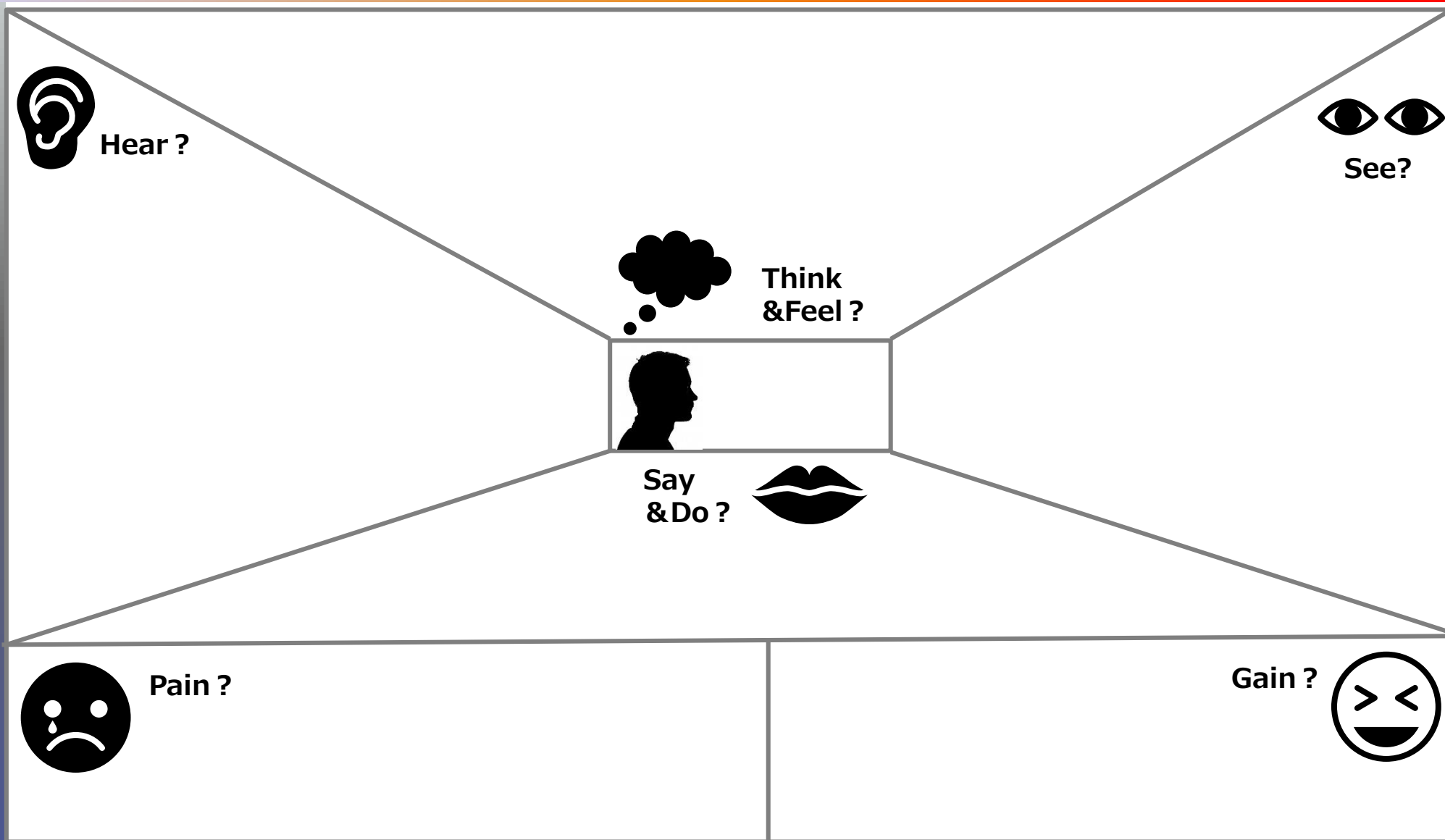
このWSにはどのような人が参加するのか？

- ・ソフトウェア開発者以外のビジネスを主管する人
(経営層や事業部門など)
- ・ソフトウェア開発者、アジャイル開発未経験者も可



次ページにあるペルソナシートを活用して、具体的な人物像をイメージするものよい。

WS参加者のペルソナ



0.概要編 ワークショップの目指すところは？

カリキュラム

どのような流れでWSを進めるのが効果的か？

開催挨拶

運営メンバー紹介

- ① 今日の目標とグラドルール
- ② チェックイン
- ③ インプットトーク（アジャイルとは？）
- ④ パターンを選ぼう！（ゴール設定）

休憩

- ⑤ アジャイル体感ワーク
 - ⑥ 全体ふりかえり
 - ⑦ チェックアウト（アクション宣言）
- アンケート回答



はじめに目標とルールを示す。



チェックイン・アウトを設ける。

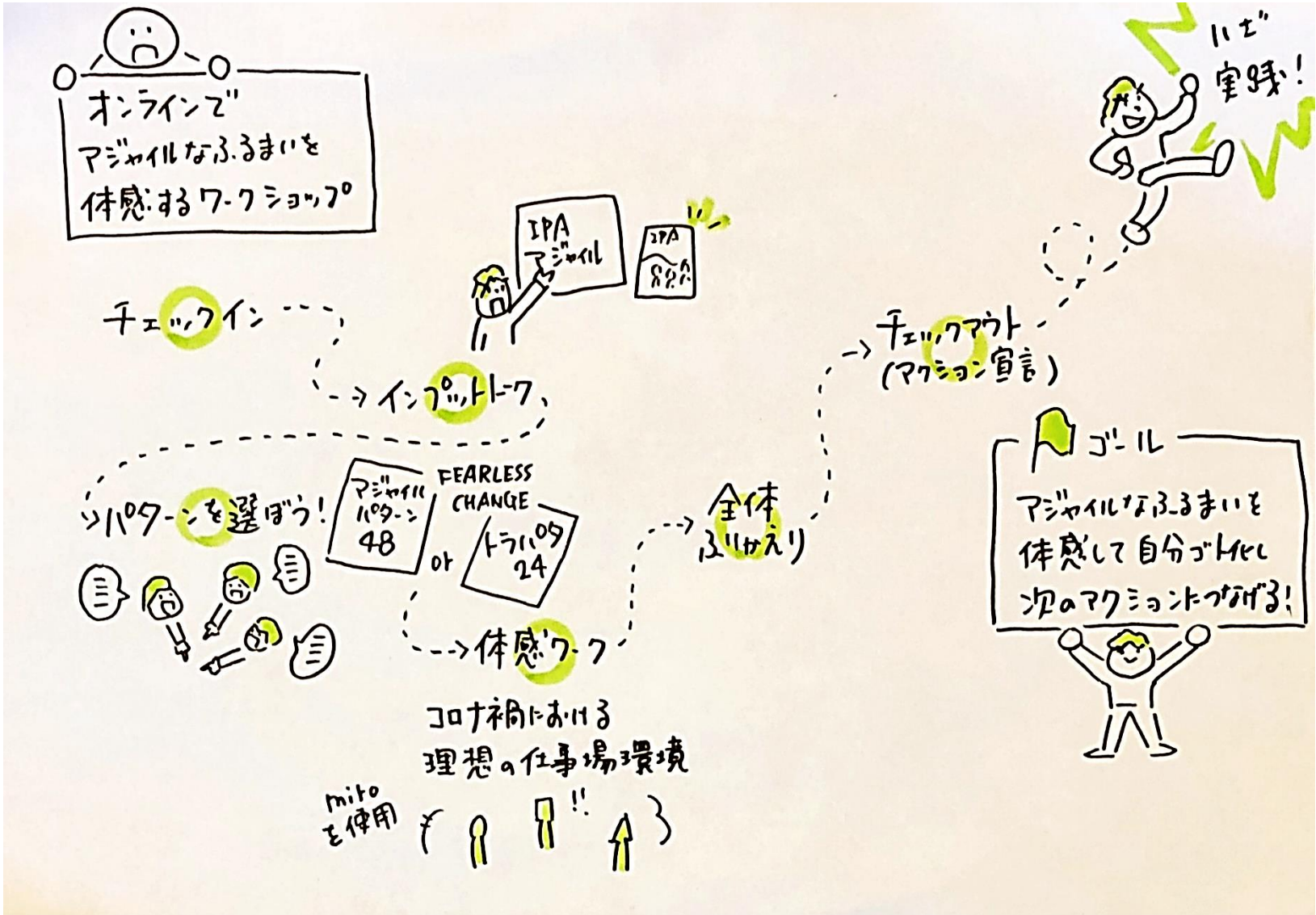


休憩は60～90分に1回設ける。



ふりかえりの時間は必須。

0.概要編 ワークショップの目指すところは？



1.準備編 オフラインとオンラインの違い

心構え

オフライン（リアルな場）でワークショップをする場合との一番大きな違いは、参加者の反応やグループワークの状況が掴みにくいことです。ここでは、オンラインでワークショップをはじめめる上でのポイントを記載します。

- ・最低限のお作法を伝える（事前告知＆当日）
- ・事前に動作確認をお願いする（動作に不安がある人向け）
- ・運営側にサポートできるメンバーを配置する
（Zoomやmiro用テクニカルサポートの配置を推奨）

オンラインワークショップに参加するにあたって

このたびは、ご参加ありがとうございます。
スムーズにワークショップを進めるために
以下を意識して参加いただくと助かります。



- ・ヘッドセットやマイク付きイヤホンで参加する。（推奨）
- ・話さない人はマイクをミュートにする。
- ・ビデオは基本ONにする。
- ・相槌や首振り積極的に大きなリアクションで。
また、サインやチャットを活用してもOK。
- ・途中休憩10分ありますが、適宜休憩をとっていただいてもかまいません。

1.準備編 何を準備するの？

資料

- 01_タイムテーブル
- 02_進行スライド
- 03_インプットトーク
- 04_進行台帳
- 05_トランスフォーメーションに対応するためのパターン・ランゲージ（略称トラパタ）
- 06_アンケート【Googleフォーム】
- 07_ワークスペース【miro】
- 08_Miro代替作業環境（Google Spread Sheet）の準備マニュアル.pdf

1.準備編 何を準備するの？

資料

01_タイムテーブル

当日、進行の確認をするために必要です。



役割を分担する場合は、担当も追記する。
備考には、必要な資材を記載する。

タイムテーブル（日中）					
No.	開始	終了	時間	内容	備考
1	14:00	14:07	0:07	開催挨拶&運営メンバー紹介	
2	14:07	14:10	0:03	1. 今日のゴールとグラドルール	
3	14:10	14:20	0:10	2. チェックイン	Zoom（ブレイクアウトルーム）
4	14:20	14:40	0:20	3. インプットトーク（アジャイルとは？）	
5	14:40	14:55	0:15	4. ゴール設定（パターンを選ぼう！）	Zoom（ブレイクアウトルーム）、miro
6	14:55	16:35	1:40	5. アジャイル体感ワーク（間に休憩5分あり）	Zoom（ブレイクアウトルーム）、miro
7	16:35	16:55	0:20	6. 全体ふりかえり	Zoom（投票）
8	16:55	17:00	0:05	7. チェックアウト（アクション宣言）	miro
9				アンケート回答	Googleフォーム

1.準備編 何を準備するの？

資料

02_進行スライド


当日、進行するために必要です。

2. チェックイン ブレイクアウトルーム **IPA**

各グループで、お名前と「コロナ禍でどのように働き方が変わったか」についてお話しください。
お話し内容はmiroのチェックインframe内に記録してください。

今の気持ちと期待は？

zoom
ミュート解除、ビデオオンにしてください。

 10分

All Rights Reserved Copyright© IPA 2020

ワークの時間を明記する。

1.準備編 何を準備するの？



資料

03_インプットーク

③ インプットーク（アジャイルとは？）で使用します。
説明用の動画 [<https://youtu.be/mZoa3w7COd4>] もあるので
ご活用ください。

アジャイルなふるまいを体感するワークショップ@オンライン

DX時代のリベラルアーツとして
のアジャイルマインド
～IPA ITSS+活用のススメ～

IPA非常勤 研究員（アジャイルWG主査）
株式会社豆蔵 取締役・カンパニーCTO
技術士（情報工学） 羽生田栄一 
1 Hanyuda Eiji, IPA 

1.準備編 何を準備するの？

資料

04_進行台帳

Zoomのチャット機能を使った説明補足や
ブレイクアウトルーム機能を使ったグループワークをする
タイミングを確認するために用意します。

1.準備編 何を準備するの？

資料

05_トランスフォーメーションに対応するためのパターン・ランゲージ（略称トラパタ）

- ④ パターンを選ぼう！（ゴール設定）で使用します。
説明用の動画 [<https://youtu.be/TxmnyRJW154>] もあるのでご活用ください。

参加者には、
以下IPAサイトよりアクセスして
事前に読んでいただくことを
お勧めします。



<https://www.ipa.go.jp/files/000082043.pdf>

1.準備編 何を準備するの？

資料

06_アンケート【Googleフォーム】

次回のWSへのブラッシュアップ
に活用します。
アンケートのひな形がありますので
ご活用ください。

オンラインでアジャイルなふるまいを体感するワークショップvol.4

本日は、オンラインワークショップにご参加いただき、ありがとうございました。
よりよい気づきをするためにアンケートへのご協力をよろしくお願いいたします。

*必須

1. 学生、または社会人歴を教えてください。*

- 学生
- 社会人1~2年目
- 社会人3~9年目
- 社会人10年以上
- その他: _____

2. 社会人の方は、ご所属の企業を教えてください。

- ITベンダー
- ユーザー企業（情報システム部門）
- ユーザー企業（事業部門）
- ベンチャー企業
- その他: _____

3. 社会人の方は、お仕事上の役割を教えてください。

- 経営

1.準備編 何を準備するの？

資料

07_ワークスペース【miro】

08_Miro代替作業環境（Google Spread Sheet）の準備マニュアル.pdf

miro（オンラインホワイトボード）上に

⑤アジャイル体感ワークで使用するワークスペースを用意します。

07_miroボードレイアウトを参考にしてください。

Miroの操作説明用の動画 [<https://youtu.be/oGYG1J0XT7o>] もあるのでご活用ください。

また、Miroの利用が難しい場合はGoogle Spread Sheetを活用してください。

Google Spread Sheetを活用する場合は、各種資料のMiroと記載されているところをGoogle Spread Sheetで置き換えて進行してください。

（資料は基本的にMiroを利用する前提で記載しております）

1.準備編 使用するツールは？

※ツールの詳しい使い方については記載していません。

ツール

Zoom（オンライン会議）

チャット機能：

進行スライドの内容をチャットにて発信することで聞き逃した参加者がいても、再度、説明内容を伝えることができます。

ブレイクアウトルーム機能：

1 グループ3～4人になるようにグループを作ります。

（事前に、ルームの数、割り当て、時間設定をしておきます。）

※ブレイクアウトルームをつくるには、共同ホストの権限が必要です。

※上記は、テクニカルサポートが担当することが望ましいです。

1.準備編 使用するツールは？

※ツールの詳しい使い方については記載していません。

ツール

miro（オンラインホワイトボード）

グループ毎に以下のワークスペースを作成します。

- ・準備
- ・ゴール設定（パターンを選ぼう！）
- ・ワーク［計画、実行、ふりかえり］ ※スプリント3回分
- ・投票
- ・ふりかえり
- ・チェックアウト

1.準備編 使用するツールは？

使用ツールの接続確認等は、以下よりご確認ください。

- Zoomのテストミーティング
<https://Zoom.us/test/>
- miroの接続確認用ボード
https://miro.com/app/board/o9J_kp6_XFg=/
- Zoom + miroを使ったオンラインワークショップを快適にするためのポイント
<https://note.com/fullvirtue/n/na8f48a74156a>

WS当日は、参加者の習熟度の合わせて操作に慣れる時間を設けることをお勧めします。

2.当日編 ワークショップの流れは？何に注意すればよいの？

① 今日の目標とグランドルール

WSのはじめに、今日の目標（到達地点）やグランドルールを提示することで、参加者は、より安心してWSに参加することができます。



グランドルールは、事細かく設定せず、どのような気持ちでWSに参加してほしいかを最大3つまでで考えるとよい。

2.当日編 ワークショップの流れは？何に注意すればよいの？

② チェックイン

心と身体を準備するために行います。全員が等しく発言する機会を作り、お互いの状態を聞き合うことで、安心感を高めてWSを始めることができます。



効果

- ・話しやすい雰囲気ができる
- ・議論が活発になる

2.当日編 ワークショップの流れは？何に注意すればよいの？

③ インプットトーク（アジャイルとは？）

本ワークに入る前に、基本的な知識を入れてもらうフェーズです。本ガイドでは、説明動画 [<https://youtu.be/mZoa3w7COd4>] を用意していますので、そちらを投影ください。

（ご参考）ITSS+アジャイル領域

<https://www.ipa.go.jp/jinzai/itss/itssplus.html#section1-4>

2.当日編 ワークショップの流れは？何に注意すればよいの？

④ パターンを選ぼう！（ゴール設定）

アジャイル体感ワークでの**ゴール設定**と『トラパタ』の24パターンからこのWSで**大切にしたいパターン**を選んでもらいます。



はじめに24パターンに目を通す時間を設けてからグループ毎に共有するとよい。

2.当日編 ワークショップの流れは？何に注意すればよいの？

⑤ アジャイル体感ワーク

グループに分かれてテーマ（例：コロナ禍における理想の仕事場環境）について議論しアウトプットを作成します。
スプリント（①計画②作業③ふりかえり）を3回繰り返します。
（進め方は、次ページ通り。）
ふりかえりは、KPTというフレームワークを活用します。



- ・場の活性化をするために、途中でルールを変更したり、グループ替え（人事異動）をするとよい。
- ・ふりかえりは、プロセスだけでなくふるまいについてもふりかえるよう促す。
- ・ふりかえり時は、次の計画を立てないように注意する。

【参考】アジャイル体感ワーク

【チーム活動の進め方】

グループに分かれてテーマについて議論しアウトプットを作成します。
議論をしながら、理想の仕事場環境をグループの作業場所に作成してください。
画像やレイアウトなどは、Google検索で素材を探して貼ってかまいません。
ファシリテーターを決めてください。ファシリテーターはスプリント毎に交代してください。

1) 各スプリント×3回実施します。

1-1) 計画（1回目：4分、2回目以降：3分）このスプリントで実行する内容の計画を立てましょう。

1-2) 実行（1回目：7分、2回目以降：5分）計画に基づき、実行しましょう。

1-3) 他チームレビュー（1回目：5分、2回目以降：3分）

別のグループのゴール設定とスプリントの成果物を確認し、フィードバックをしてください。

1つのフィードバックを1つのsticky noteに書いて貼ってください。

1-4) ふりかえりKPT（1回目：4分、2回目以降：3分）

Keep(続けたいこと) Problem(問題だったこと) Try(改善したいこと)

について、グループ内でふりかえりをしてください。

miro上のふりかえりボードにどんどん書き出してください。

1つの内容を1つのsticky noteに書くようにしてください。

※講師コメント

2) 投票（3分）皆さんの成果物に対して、一番よい仕事場環境だと思うものを1つ選んで投票してください。

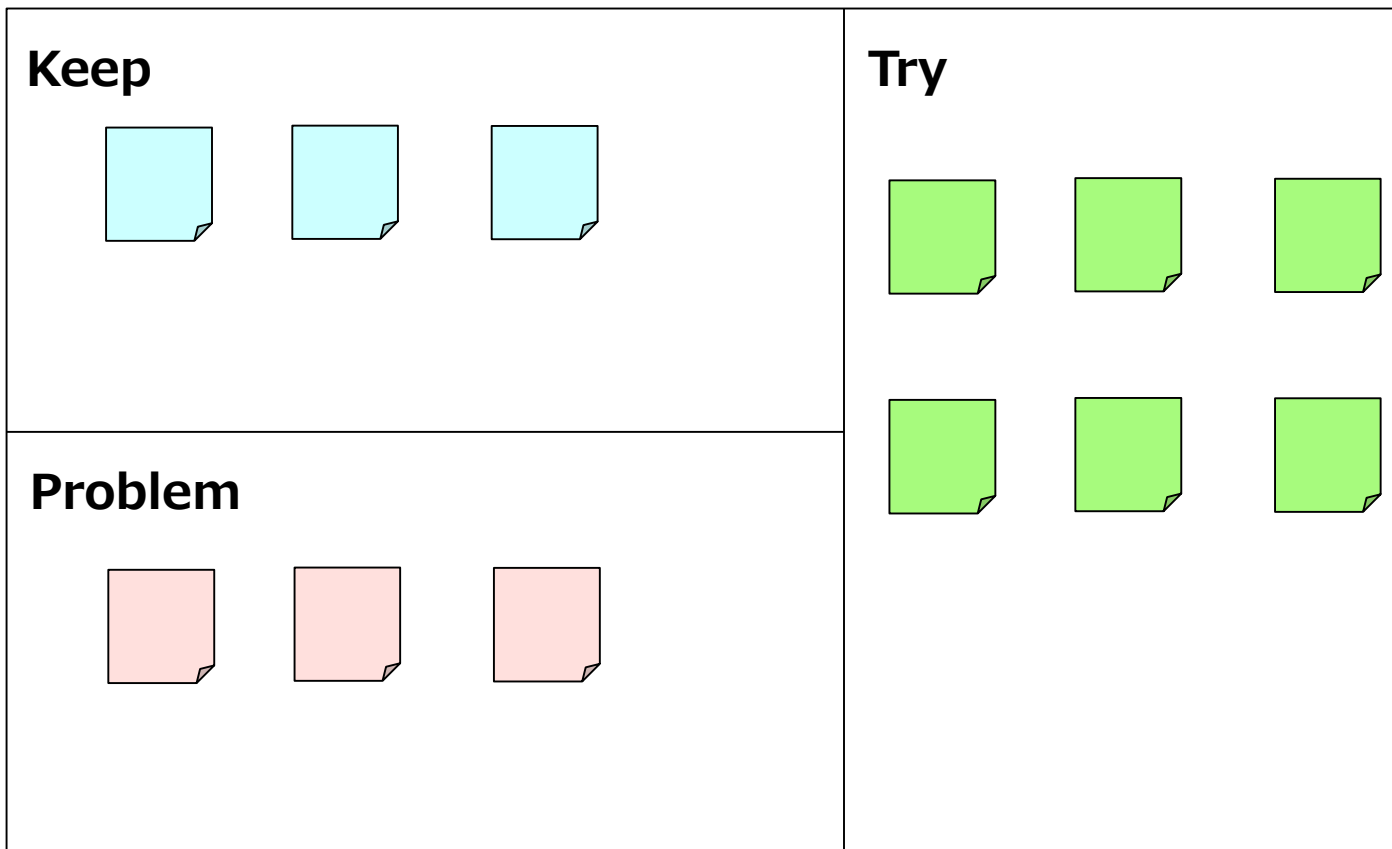
[参考] KPT

ふりかえりのフレームワーク、Keep → Problem → Try の順でふりかえる。

Keep : 良かったこと (今後も続けること)

Problem : 悪かったこと (今後はやめること)

Try : 次に挑戦すること



2.当日編 ワークショップの流れは？何に注意すればよいの？

⑥ 全体ふりかえり

体感ワークの中での行動（アジャイルなふるまい）が『トラパタ』の24のパターンのどれにあてはまるかを考えます。そうすることで、何気ない行動が実はアジャイルなふるまいになっていることを体感します。



アジャイル開発プロセスではなく、行動（アジャイルなふるまい）に着目するように促す。

2.当日編 ワークショップの流れは？何に注意すればよいの？

⑦チェックアウト（アクション宣言）

チェックアウトとは、会を終えるにあたって、理解度、納得度、満足度を高めるために行います。

ご自身の活動に対する次へのアクションに対して、どのような行動パターンで挑むか、『トラパタ』の24のパターンから1つ選んで宣言します。



人数が多い場合はグループで、少ない場合は全体で、共有する。

3.後日編 ふりかえりはどうして重要？

アンケート結果を元に、ふりかえりを行います。
体感ワークでも使用したKPTを使ってふりかえります。
ふりかえった結果は、次回のワークショップをよりよくするための宝となります。また、このWSの計画、実行、ふりかえりというプロセスがアジャイルなふるまいそのものになります。



実施して“楽しかったね”で終わらないようにする。

アジャイルWGメンバー（2021年度）

	氏名(敬称略)	所属
主査	羽生田 栄一	株式会社豆蔵/ 独立行政法人情報処理推進機構（IPA）
メンバー	川上 誠司	アクセンチュア株式会社
	関 満徳	エクスパッション合同会社
	和田 憲明	富士通株式会社
	渡会 健	株式会社マネージメントソリューションズ
	岡本 宗之	株式会社ITプレナーズジャパン・アジアパシフィック
	松崎 一孝	株式会社ふくおかフィナンシャルグループ
	藤井 崇介	株式会社星野リゾート
オブザーバー	山下 博之	独立行政法人情報処理推進機構（IPA） 社会基盤センター産業プラットフォーム部
	野村 治彦	独立行政法人情報処理推進機構（IPA） デジタル戦略推進部デジタル企画推進グループ
アドバイザー	平鍋 健児	株式会社永和システムマネジメント

事務局：高橋、藤中、横井、下川、鈴木（独立行政法人情報処理推進機構(IPA) 社会基盤センター人材プラットフォーム部）